

浩友会だより



遠藤ひろし議員

発行：遠藤ひろし後援会（浩友会）代表 山村正樹
 事務所：市川五郷町市川大門127番地 : 055-272-0330
 : http://www.enyo.co.jp/koyukai/
 メール：koyukai@enyo.co.jp

平成22年度予算

一般会計 78億9千万円
 特別会計 50億7千万円

特色のある予算
平成22年度予算

平成22年度予算は、町営富士見団地建設事業が終わるなどの要因で、対前年度比8.3%の減額となりました。

継続事業としては、町道矢作上野線などの新設改良工事、中学生までの医療費窓口無料化。

新設事業では、町政5周年記念事業、自然エネルギー有効活用促進事業、ことばの森教室など特色のある予算となりました。

一方、借入金償還は、本年度も繰上償還4億3413万円を実施し、財政健全化を目指します。

謹啓 さわやかな季節となりました。平素はご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般の定例議会において平成22年度予算が決まりましたので、ご報告申し上げます。厳しい財政の中、特色のある予算編成となりました。

また、今後は、「みたまの湯」を起点とした観光事業により市川三郷町全体の発展を推進していきます。今後ともご指導いただきます。よろしくお願い申し上げます。

謹言

注目の新規事業

町政5周年記念式典事業	23万円
子ども手当支給事業	2億5804万円
保育所耐震診断業務	776万円
自然エネルギー有効活用促進奨励金	240万円
中央通り・蘆州の庭・落合の道祖神整備事業	3484万円
ことばの森教室(作文添削)	18万円
根津ピアノ修繕展示	32万円
市川給食センター食器洗浄機購入費	2858万円

幼・保環境の充実

平成22年度予算では、扶助費が対前年度比25%増大しました。

子ども手当創設によるもので、これにより中学3年生までの児童生徒1人あたり月額1万3千円支給されます。子育て家庭にとっては有難い制度です。

本町の場合子ども手当で支給総額は2億5804万円ですが、町立・私立保育所9園に係る保育所費3億4千万円です。待機児が多い都市部などでは、一部で疑問の声も上がっていました。

本町の場合、幼稚園・保育所などは、関係者のご努力によりきめ細やかな教育・保環境が整備されています。

トピックス

「みたまの湯」を起点とした活性化策

「みたまの湯」は県内外から年間25万人が訪れる観光拠点です。併設する農産物直売所の売上も6千万円を上回り峡南地域最高を誇ります。

近年は、企業誘致から観光事業へ地域活性化の考え方が移行し、地域資源の活用と地域活性化が同時進行できる事業展開が急務となります。

市川地区中央部の整備

中央通り美装化
 商店街の活性化と歩行者保護の考え方から、段階的に舗装、側溝、歩道などの整備をします。

近年は、企業誘致から観光事業へ地域活性化の考え方が移行し、地域資源の活用と地域活性化が同時進行できる事業展開が急務となります。

蘆州の庭整備
 郷土史家の故村松志考氏が住んでいた旧宅(商工会付近)を人の集える庭として整備します。

落合の道祖神整備
 春日地区にある道祖を街なみ環境整備事業として整備します。

一般質問

(12月・3月定例会)

- ・人口2万人のまちづくりに向けた具体策を検討すべき
- ・商店街活性化のため最大の行政支援を
- ・土砂災害危険箇所の整備
- ・町立病院の経営は危機的状況ではないのか
- ・国民健康保険特別会計の経営は今後どのようにしていくのか